

親鴨だより

2009年 5月号

第245号



清々しい季節となりました。会員並びにご家族の皆様におかれましては益々ご健勝にてご活躍のことと推察いたしております。先月、本部並びに各支部の総会で今年度の親鴨会行事計画が承認され活動のスタートを切ったところであります。各行事の参加を通して一層の親睦を深める場となるよう期待します。

昨年アメリカのサブプライムローン問題、リーマンショックに端を発した金融危機から、一気に世界的経済不況に突入、景気はどん底の混迷から出口の見えない閉塞社会の中を右往左往している現状は目を覆うばかりです。こんな暗いニュースの合間に、突然ノーベル物理学賞、化学賞に日本人4人が同時に授賞、技術立国日本の健在ぶりを示したり、米国アカデミー賞に日本映画2作品がダブル授賞、WBC連覇など、その一瞬一瞬に感激を覚えるものの未曾有の経済不況はあらゆる分野に暗い影を落とし、ここから早く脱却できる日を待ち望む心境は続いています。

さて野洲支部は1994年6月設立、今年15年目という節目を迎えました。会員数も初年度36名から年々増加で現在197名の会員が在籍しております。野洲支部が母体とするIBM野洲事業所がなくなり、社員も他地区への転出により、新規会員の減少を予想するも、幸い他地区に転出されていた社員が使命を終え少しずつ野洲支部へ新会員となって帰られ、会員数もまだまだ増加傾向を示していることは誠に嬉しい限りです。

今、旧IBM野洲事業所内を生産拠点としているオムロンではマイクロ・エレクトロニクス事業として鉄筋五階建てビルが完成、京セラでは太陽電池セルの工場建設を計画、本年2月着工、来春操業を目指し賑わいを見せているようです。次世代を担う自然エネルギー分野は将来の発展が約束され、此処に多くの元IBM社員が活躍しているわけで一層の発展を願ってやみません。環境に優しい風力、波力、太陽光、燃料電池などの自然エネルギーの普及が新たな雇用を創出し新しい産業としての躍進を期待したいものです。

尚、野洲支部ホームページアドレスが <http://www.oyagamo.jp/index.html> に変更になりましたのでお知らせします。

以上

野洲支部：柴原 喬